〔9〕各教科・各部・各学年の指導・努力目標

【国語科】

1 指導目標

- (1) 自己の考えを適切に表現し、伝え合う力を育成する。
- (2) 思考力や想像力を伸ばし、書く能力を育成する。
- (3) 語彙力を磨き、文章を的確に理解し判断する能力を育成する。
- (4) 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 根拠を持って論理的に判断し、自己の意見や考えを他者と練り合う活動に取り組ませる。
- (2) 意見文や読書感想文・小論文等に取り組ませ、文章力を高めさせる。
- (3) 様々な作品を取り扱い、読解力を高めさせる。
- (4) 表現活動を通して、お互いにそれらを尊重して聞く態度を身に付けさせる。
- (5) 宿題や小テスト等（漢字・古文単語・文法）をとおし、家庭学習を習慣化させる。
- (6) 読書活動・各種コンクールへの応募を推奨する。

【地歴・公民科】

1 指導目標

- (1) 国際社会に主体的に生きる人材を育成する。
- (2) 現代社会が抱える課題に関心をもち、民主的で平和的な国家・社会の形成者としての自覚を促す。
- (3) 郷土の自然・歴史・生活・文化などの特色について、理解と認識を深める。
- (4) 教科指導を通して、学力の向上とキャリアの形成を支援し、自主性の向上を図る。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 学習指導を通して日本や世界の国々の歴史・生活・文化についての理解を深め、国際社会に対応できる資質を養う。
- (2) 学習指導を通して現代社会が抱える課題に関心をもち、社会を構成する一員としての自覚を促す。
- (3) 野外学習を通して郷土が抱える課題についての理解を深め、郷土の発展に寄与する人材の育成を図る。
- (4) 生徒の実態とニーズに応じた講座を開設するなど、学習指導を通して、学習規律を遵守させ、学力の向上とキャリアの形成を支援する。

【数学科】

1 指導目標

- (1) 学習に取り組む態度を育てる。
- (2) 数学への興味・関心を高める。
- (3) 基礎学力を定着させる。
- (4) 自学自習の習慣を定着させる。
- (5) 数学の応用力を身に付けさせる。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 学習環境を整え、授業に集中させる。
- (2) 数検・各種模試受験を奨励する。
- (3) ①必要に応じて小テストや再テスト、補習等を実施し基礎学力を向上させる。
②追試対象者のための補修を実施して、追試合格を目指す。
- (4) 課題やテストを通して学習習慣を定着させる。
- (5) 課外講座を計画し実施する。

【理科】

1 指導目標

- (1) 自然に対する興味や関心を高め、科学的に探究する能力と態度を育成する。
- (2) 自然の事物・現象についての理解を深める。
- (3) 郷土の自然に親しみ、自然環境のバランスやその大切さを学ぶ。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 日常生活と単元内容との関わりに気づかせる。
- (2) 各単元の課題に対して、きちんと取り組ませる。
- (3) 観察・実験のねらい、手順、データ処理、考察、まとめの方法を習得させる。
- (4) 野外探究での与えられた課題に対して、自ら進んで取り組むことができるよう支援する。
- (5) 家庭学習の習慣化を図るため、宿題・課題を与える。
- (6) 生徒の進路実現を支援するため、生徒の実態に応じた各種講座を開設し、学力向上を目指す。

【保健体育科】

1 指導目標

- (1) 運動の合理的実践を通して、運動技能や体力の向上を図る。
- (2) 運動の楽しさや喜びを味わい、生涯を通して継続的に運動を実践できる能力や態度を養う。
- (3) 集団行動を通して、体育の授業を効率的かつ安全に行う態度を育成するとともに、学校教育活動全体に生かせるようにする。
- (4) 自他の生命を尊重し、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基本的な知識を理解させる。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 生徒の興味を引き出す授業の実践により、更なる出席率の向上を計ると共に、忘れ物をしない指導の徹底を図る。
- (2) 授業の中で指導している集団行動が、授業はもとより学校生活に生かされるよう指導する（目標：授業や全体集会、学年集会の集合整列がチャイムが鳴り終えるまでには完了できるようにする→5分前行動の奨励）。
- (3) 生徒の泳力の向上（目標：クロール・平泳ぎどちらか100m以上泳げることを目指す。男子6割以上、女子5割以上）
- (4) 継続的に実践している体力診断テストの結果を踏まえ、体力の向上を図る（目標：A段階診断の生徒を男子120名以上・女子100名以上）。
- (5) 体育の授業において常に安全を留意し、ケガの防止に努める（目標：体育の授業に関係する体調不良や受傷などによる保健室利用件数の減少）。
- (6) 体育施設・備品等の整備を行い、学習条件の充実を図ることによって生徒自らが自主的、協力的に取り組む授業を実践する。

【芸術科 音楽】

1 指導目標

- (1) 音楽の多様性について理解すると共に、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を育成する。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く力を養う。
- (3) 主体的・協働的に音楽活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 音楽における、知識及び技能の基礎・基本の習得を図る。
- (2) 歌唱及び器楽における豊かな表現の工夫。
- (3) 楽曲の理解と表現を工夫し、創造的な表現活動を行う。
- (4) 多様な音楽を鑑賞し、音楽の種類と特徴を理解する。
- (5) 授業で取り組んだ、楽曲や創作作品を発表し、生徒の意欲向上に繋げる。

【芸術科 美術】

1 指導目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す技能を育成する。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を養う。
- (3) 主体的に美術の創作活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 努力目標（重点目標）

- (1) スケッチやデッサンなどにより、観察力、思考力、描画力が身に付くよう指導をおこなう。
- (2) 美術や美術文化に対する理解を深め、表現方法を創意工夫のしながら、表現活動をおこなう。
- (3) 制作と関連した鑑賞活動を設定し、鑑賞を通し、造形的な見方や考え方を養う。
- (4) 事故防止のため、刃物、塗料、器具の使い方の指導・保管など、安全指導の徹底を図る。
- (5) 授業で取り組んだ生徒作品等を展示し、生徒の関心・意欲の向上に努める。

【芸術科 書道】

1 指導目標

- (1) 書の多様性などについて理解するとともに、書の伝統に基づき効果的に表現するための技能を育成する。
- (2) 書の良さや美しさを感じ、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のびを味わい深く捉える力を養う。
- (3) 主体的に書の活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 漢字かな交じりの書の調和した線質、構成、形成の理解と特に中学校でならっていた書写との違いを理解することを重点目標とする。
- (2) 楷書・篆書の鑑賞及び特徴の理解と技術の習得
- (3) 楷書・行書の技術習得、倣書の作品制作
- (4) 篆刻を理解し、落款印の制作をおこなう。
- (5) 授業で取り組んだ生徒作品等を展示し、生徒の関心・意欲の向上に努める。

【英語科】

1 指導目標

- (1) 英語でコミュニケーションを図ろうとする主体的な態度を育成する。
- (2) 言語や文化に対する興味・関心を持たせる。
- (3) 自学自習の定着を図り、基礎学力を養う。
- (4) 思考力・判断力・表現力を育成する。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 英語による言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図る態度を養う。
- (2) 幅広い題材の英文に親しませるとともに、外国語指導助手とのティームティーチングを通して、外国の文化に触れさせる。
- (3) 定期的な単語テストを実施し、基礎的な語彙の定着を図る。
- (4) 生徒が自学自習に取り組むよう促し、学習内容の定着を図る。
- (5) 「資格・検定試験」取得を奨励する。
- (6) パフォーマンステストを実施し、思考力・判断力・表現力を育成する。

【家庭科】

1 指導目標

- (1) 生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 生徒の生活技術のレベルに合わせて学習内容を検討し、生活に必要な知識と技術を身に付ける。
- (2) 実験・実習を計画的かつ安全に実施する。
- (3) 「食物」はより実践的・体験的な学習を深めていくために、検定、調理実習等を計画・実施していく。
- (4) 生涯発達の視点から生活者としての課題解決に向け、実践的な態度を身につけられるようホームプロジェクトを実施する。

【情報科】

1 指導目標

- (1) 情報を実践的に活用する能力を育てる。
- (2) 情報の科学的な理解や情報技術の特性の理解を深める。
- (3) 情報社会に対応できる能力を育成する。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 教科書を基本に「情報」に関する知識を身に付ける。
- (2) コンピュータの基礎的な操作方法を身につけ、情報活用能力の習熟を図る。
- (3) 情報系の検定試験を奨励する。

【教務部】

1 指導目標

- (1) 学校経営基本方針に基づき、校務が適切に遂行されるように支援に努める。
- (2) 学習の充実に向け、生徒の実態を踏まえた教育課程の編成と時間割編成、授業時数の確保に努める。
- (3) P T A・同窓会・後援会及び地域社会との連携を密にし、学校活性化へ努める。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 各部・各学年との連携による効果的な組織づくり。
- (2) 適切な授業時数の確保と各授業曜日の均等化。
- (3) 学校生活の充実と発展につながる行事の企画・運営。
- (4) 教育課程に関する研究と編成。
- (5) 単位未修得者への継続的・効果的指導。
- (6) 諸表簿及び学籍等文書・データの整理と管理。

- (7) 学校説明会の充実と円滑な入試業務。
- (8) P T A、同窓会、後援会及び地域との連携による開かれた学校づくり。

【進路指導部】

1 指導目標

- (1) 進路指導を強化・充実させ、進路の早期決定に努める。
- (2) 学年会との連携を密にする。
- (3) 共通テストの受験を推奨し、国公立大学等への挑戦を促す。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 進路希望調査などを実施して生徒理解を深め、データの活用と全体での共有を図る。（データの早期提供・進路研修会の実施）
 - ・「進路便り」や「進路のしおり」など進路情報の内容を研究する。
 - ・模擬試験や課外講座を実施し、実力の養成を図る。
 - ・ホームページを積極的に活用し、家庭への情報提供に努める。
 - ・総合的な探求の時間等を利用した進路説明会や進路講演会を適宜実施する。
- (2) 学年会と連携し、HR担任が指導しやすい資料提供に努める。生徒一人ひとりの自己目標に応じた進路指導と希望進路先の早期決定を図る。
- (3) 高い目標設定を奨励することで、共通テストの受験を推奨し、国公立大学や難関大学等の合格者の増加に努める。

【生活指導部】

1 指導目標

- (1) 本校の教育目標の実現を目指し、互いの人格を尊重する考え方を確立させる。
- (2) 社会の基本的な行事様式や基本的生活習慣のあり方を身につけさせる。
- (3) 糸満高校の一員としての自覚と誇りを持ち、互いに協力し、自己の判断と責任に基づいて行動できる生徒を育成する。
- (4) 個性の伸長を図り、創意・工夫する能力を伸ばし、心豊かでたくましく生きる生徒を育成する。
- (5) 生涯を通して自らの健康を適切に管理し、健康の保持増進を図る。
- (6) 健康的な生活習慣の確立により、心身の調和的発達を図る。
- (7) 問題行動について未然予防的な観点から事前指導を徹底する。

2 努力目標（重点目標）

〔1〕生活指導について

- (1) 自己管理能力を高め、基本的な生活習慣を確立させる。
- (2) 服装・身なり指導の徹底につとめる。
- (3) 事前指導を徹底し、問題行動の防止に努める。
- (4) 集会・集合時における5分前行動を励行する。
- (5) 情報モラルの徹底、携帯電話・スマホのマナー指導を徹底する。

〔2〕交通安全指導について

- (1) 交通事故の防止、交通安全意識の高揚と実践を図る。
- (2) 免許取得者の把握及び指導の徹底を図る。
- (3) 生徒自らが実践する交通安全の取り組みと地域の交通安全集会への積極的な参加を促す。

〔3〕生徒会活動について

- (1) 生徒会活動の活性化を図る。
- (2) 各種委員会との連携を深め、ホームルームの活性化を図る。
- (3) 学校行事への積極的協力の推進。

〔4〕部活動について

- (1) 文武両道の精神で勉強と部活を両立させる。
- (2) 部活動の活性化を図り、各部の競技成績が向上するよう支援する。
- (3) 部活動を通して模範的な生徒・リーダーシップのとれる生徒の育成を図る。
- (4) けじめある部活動の推進（部活終了後は速やかな帰宅を各部顧問で指導）。

〔5〕カウンセリング・特別支援について

- (1) 面談や相談などを行う。（自発的・呼び出し・依頼）
- (2) マルチ検査の実施と保管（3年間）。
- (3) 保健室、各部、学年会との連携相談などを行う。
- (4) スクールカウンセラー及び関係機関との連携を図る。
- (5) カウンセリング委員会、ケース会議を行う。

〔6〕保健指導について

- (1) 定期健康診断の徹底及び疾病異常者の早期受診指導（定期健康診断全員受診）。
- (2) 性エイズ、薬物乱用防止教育等の健康教育の実施。
- (3) 保健だよりの発行、掲示板を通して最新の保健情報の提供を行う。
- (4) 校内外の関係者、及び、関係機関との連携を図る。

【情報・図書・視聴覚部】

1 指導目標

【システム・HP】

- (1) 校務支援システムの管理と円滑な運用を行う。
- (2) 情報教育の普及に努める。
- (3) 学校 Web ページなどを通して、家庭や地域へ情報の発信に努める。

【図書・視聴覚・放送】

- (1) 図書資料の充実を図り、読書活動を推進する。
- (2) 図書委員の活動を活発にする。
- (3) 各教科との連携を密にし、図書館の利用を促進する。
- (4) 視聴覚機器の有効活用を促進し、各教科の効果的な学習活動や学校行事への支援を行う。

【LAN・GIGA】

- (1) 校内 LAN 運用と環境の整備に努める。
- (2) 学校行事等の写真及び映像記録・保存・管理に努める。
- (3) 一人一台端末に関する運用と環境の整備に努める。

2 努力目標（重点目標）

【システム・HP】

- (1) 職員が利用しやすい ICT 環境を整える。
- (2) 校内研修として情報に関する説明会を実施する。
- (3) 学校 Web ページを定期的に更新する。

【図書・視聴覚・放送】

- (1) 図書館内を整備し、読書しやすい環境を作る。
- (2) 「図書館便り」を定期的に発行し、図書館の活動の紹介を行う。
- (3) 慰霊の日、読書週間の特設展を行う。
- (4) 校内読書感想文・感想画コンクールを国語科・美術科と連携して実施する。
- (5) 生徒作品集「怒濤」を発行する。
- (6) 視聴覚教室や機器の保守・点検・整備を行い、機器利用の充実及び即応に努める。
- (7) 各行事において、放送・照明機器を効果的に使用する。

【LAN・GIGA】

- (1) 職員・生徒が利用しやすい ICT 環境を整える。
- (2) クロームブックの管理を行う。
- (3) アクセスポイントの管理を行う。

【環境美化部】

1 指導目標

- (1) 学習環境の整備、美化に努める。
- (2) 日々の清掃活動等を通して生徒達の社会奉仕的精神を培い、社会性、協働性、及び豊かな人間性の育成を図る。
- (3) 生徒会美化委員会活動の活性化を図る。
- (4) 防災意識の啓発、防災体制の向上を図る。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 学習に集中できるよう施設設備を整え、校内の美化に努める。
- (2) 美化委員を育成し、学級における美化活動のリーダー的役割を実践する。
- (3) 環境教育を推進し、リサイクルや節電を促す。
- (4) 施設設備、清掃用具等に関する要望を定期的に取りまとめ整備計画を立て備品要求していく。
- (5) 避難訓練を通じて、人命尊重の精神および防災意識の高揚に努める。

【1 学年】

1 指導目標

- (1) 基本的な生活習慣の定着・向上を図る。
- (2) 思考力・判断力・表現力の向上を図る。
- (3) 学力向上を図る。
- (4) 思いやりの心を持ち、帰属意識を高め学校生活が楽しくなるように努める。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 基本的な生活習慣が身につくように指導する。
- (2) 学習環境を整え、学力の向上に努める
- (3) プレゼンテーションの取り組みを通して、進路指導に繋げていく
- (4) 学校行事等を通じ、協働性を育む
- (5) 保護者との連絡、連携に努める

【2 学年】

1 指導目標

- (1) 基本的な生活習慣の定着・向上を図る。
- (2) 自発的・計画的に取り組む学習態度を育成する。
- (3) 早期の進路決定に向け、進路指導を強化する。
- (4) 他者を思いやり、主体的に動ける生徒を育成する。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 基本的な生活習慣が身につくように指導する。
- (2) 学習環境を整え、積極的な授業態度を育成する。
- (3) 保護者との連携を密にする。
- (4) 平和ウォークラリー等の取り組みを通して、平和について学ぶ。
- (5) 学校行事・HR活動を通して、協調性や自主性を育てる。
- (6) 三者面談や進路相談を行い、進路指導部との連携を密にして早期に進路決定させる。

【3 学年】

1 指導目標

- (1) 志を高く持つとともに、自己の進路目標を明確にさせ、進路実現に向けて努力する生徒の育成。
- (2) 最上級生としての誇りと自覚を持ち、自主的・意欲的・計画的に行動できる生徒の育成。
- (3) 基本的な生活態度を身につけ、凡事徹底ができる生徒・文武両道ができる生徒の育成。

2 努力目標（重点目標）

- (1) 個別指導の強化を図り生活指導部との連携によって、基本的な生活習慣の定着及び向上に努める。
- (2) 文武両道が実践できる生徒を育成する。
- (3) 生徒が充実した学校生活を送れるように教室内の学習環境を整える。
- (4) 生徒がLHR・総探・学校生活全般に於いて、自主的・意欲的・計画的な活動ができるようにする。
- (5) 生徒一人ひとりの進路決定にむけて、LHRや総合的な学習の時間を有効活用する。
- (6) 個に応じた進路実現の強化と進路指導部との連携によって、進路決定を支援する。（二者面談・三者面談・面接指導の強化）
- (7) 特進クラスの目標にある国公立大学等への現役合格にむけて指導を充実させる。
- (8) 模擬試験の受験や課外講座の受講を促し、生徒の学力向上に努める。

【事務部】

努力目標（重点目標）

- (1) 学習環境の整備充実、環境美化の推進に努める。
- (2) 学校予算の適正かつ効率的な執行に努める。
- (3) 授業料、学校取扱金について、教育職員と連携して適正かつ効率的な処理に努める。
- (4) 教職員が安心・安全に勤務できるよう福利・厚生 of 適切な運用に努める。
- (5) P T A・同窓会・後援会および地域社会と連携を密にし、信頼関係の構築を図る。